

建設経済常任委員会の研修報告を申し上げます。

当委員会は去る、11月12日から13日までの間、委員全員が出席し、新潟県長岡市、群馬県みなかみ町及び川場村において視察研修を行いましたので、その概要を報告いたします。

まず、長岡市であります。

長岡市は新潟県のほぼ中央に位置し、市内中央に日本一の大河・信濃川が流れる人口約27万人の都市であります。

長岡市では、「ながおか・若者・しごと機構」について、地方創生推進室の担当者から説明を受け、現地の視察を実施いたしました。

本機構は、市内3大学、1高専、15専門学校、金融、産業、行政の全29機関が^{さんかく}参画し、若者の活動を全面的に支援することを目的に、平成27年12月に設立され、その運営は若手経営者や会社員など39歳までの若者を中心とした理事会によって行われています。

機構では取り組みを次の4つに絞り、実践しています。

まず、①若者と企業の情報収集・発信事業では、若者の意向調査を実施し、パンフレット等により積極的な情報発信を実施しています。

また、②若者提案プロジェクト実現事業では、行政課題ではなく若者が本当にやりたいことをテーマに設定した、ワークショップの開催や、仕事創造アイデアコンテストの実施により、アイデアの育成環境を整えています。

そして、③若者の出会い・居場所づくり支援事業では、学生や